



国労東京支部

2022年1月1日

第18号

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 松田 恭明

編集責任者 佐藤 賢一

闘春

組合員・家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウィルス感染症第5波の猛威により、JR職場の中でも多数の感染者が発生しました。しかし、会社側は後手後手の対策しか行わず、職場では多くの不満の声が出され、怒りが渦巻いています。このような中、今こそ労働組合の闘いが求められている時はありません。

国労にとって、組織強化・拡大は最重要課題となっています。東京支部が発足以降、大井工場分会で2名の組織拡大を勝ち取ってきています。国労の闘いや会社の攻撃により、労働組合の必要性を感じ加入に至っています。更に全組合員の奮闘により、この流れを強めていきましょう。

昨年の春闘はコロナ禍による赤字攻撃により、ベアゼロ回答だけではなく、東日本会社においては昇級係数を2とする暴挙を行ってきました。貨物会社においても新人事賃金制度導入をはじめにコストダウンの推進や賃金抑制を推し進めてきています。

22春闘では職場・地域から大衆闘争を展開し、人間らしく働き・生活できる賃金と労働条件を勝ち取らなければなりません。同時に政治・国民的諸課題と連動させ、闘う春闘の再構築に全力を上げる必要があります。

東京支部としても先頭に立って闘い続ける決意を表明し、年頭のご挨拶と致します。

国労東京支部執行委員長 松田 恭明

今年もよろしくお願ひします

会計監査

加堀中山
藤川

英知充
樹明郎

女性部長
青年部長

加早藤川

照義代貴

伊山 東島 恒竹 佐佐千岡 八市
東田 崎 本田 藤藤田 部郷 川
敏克 功将 肇文誠 賢永貴 清修
明之二 郎 利 一 幸

執行委員

鈴木
敏

智太郎

書記長

上田

松田
恭明

執行委員長

松田
恭明